

つづみ 堤 かなめ 衆議院議員



初登院、10万円の「現金給付」訴え

政治を変える！変革の「かなめ」に!!をスローガンに闘った第49回衆議院議員選挙。皆さまのあたたかい、そして力強いご支援のおかげで激戦を勝ち抜くことができました。お寄せいただいた皆さまの熱い思いを胸に刻みながら、ブレることなく、不正に屈せず、理不尽に立ち向かい、すべての人々が安心できる政治を貫いてまいります！今後ともご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。 堤かなめ

政治を変える！
変革のかなめに!!

国会レポート vol.1

変革へ かなめの一步

【第206特別国会】2021年11月10日～12日

初登院の日。国会の門前に立つと、責任の重大さをひしひしと感じるとともに、改めて身の引き締まる思いでした。堤かなめは皆様の期待に必ず応えます！



初登院の日。国会議事堂の前で決意を新たにす堤かなめ

初の議員立法 クーポンへの疑問呈す

初登院の翌日11月11日には、議員立法「コロナ特別給付金法案」の提出者の一人となりました。低所得の住民税非課税世帯や新型コロナウイルス感染症により大幅に減収した世帯等に対して1人現金10万円を支給する法案です。

法案提出直前に「半額はクーポンでの給付を政府が検討」との情報が入り、堤かなめはマスコミの取



堤(左から4番目)は初登院の翌日、議員立法「コロナ特別給付金法案」の提出者の一人となった

材に対し「大変厳しい状況にある家庭にとっては(クーポンでの給付は)非常に違和感があるのではないか」と指摘。全額を現金で給付する野党案の実現を訴えました。「クーポン給付」の政府案に公の場で疑問を呈したのは、おそらく全国で最初だったのではないかと思います。

今国会では、私たちの提出した法案が唯一の法案になりました。その後、自治体や国民の皆さまからのクーポンの撤回を求める声が徐々に大きくなっていきました。

にもかかわらず、政府は11月26日、18歳以下の子どもに対し、年内に現金5万円、来年以降に5万円相当のクーポンを配ることを閣議決定しました。そこで同日、立憲民主党の後藤祐一衆議院議員は、現金+クーポンと2回に分けると、事務費が約900億円も増えると指摘しました。(裏面へ続く)

経歴

- 1983 KDD 国際電信電話(株)勤務
- 1995 カロリンスカ研究所(スウェーデン)客員研究員
- 1997 NPO アジア女性センター設立

- 2000 NPO 福岡ジェンダー研究所設立
- 2001 九州国際大学教授
- 2002 サリー・ローハンブン大学(イギリス)客員教授
- 2005 九州女子大学教授
- 2010 参議院選出馬17万6149票獲得(福岡選挙区)

- 2011 福岡県議選 初当選
- 2015 福岡県議選 2期目当選
- 2019 福岡県議選 3期目当選
- 2021 衆議院議員総選挙初当選 12万5315票獲得(福岡5区)

学歴

- 太宰府小 大野中卒
- 牛頸小 筑紫丘高校卒
- 大野南小卒 九州大学卒

🏠 堤かなめ後援会 / 立憲民主党福岡県第5区総支部 事務所

住所 〒818-0072 福岡県筑紫野市二日市中央2丁目7-17-2F

TEL 092 (409) 0077 FAX 092 (409) 0088 HP <https://www.kaname2010.org>

号外 2022年1月15日

立憲民主編集部
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-12-4 ふじビル3F
tel 03-6811-2301 fax 03-6811-2302
goiken@cp-japan.net <http://cdp-japan.jp/>